

森林所有者を対象とした森林経営管理制度セミナーを開催しました

1 開催に至る経緯

令和元年度から施行された新たな森林経営管理制度ですが、岩手県内の多くの市町村では、いよいよ今年度から意向調査をはじめとする取組が本格化しているところかと思えます。

沿岸広域振興局管内では、釜石市・大槌町が足並みを揃えた制度推進の取組を行っており、両市町とも令和2年の年末から意向調査を開始したところです。しかし、これまでにない新たな制度であり、その仕組みも簡単ではないので、資料に目を通しただけでは理解が難しいのが実情ではないでしょうか。

こうした状況から、地域の森林所有者を対象とした森林経営管理制度のセミナーを、釜石地方林業振興協議会の主催で開催しましたのでご紹介します。

2 開催準備

釜石市・大槌町の意向調査の時期に合わせ、セミナーの開催時期は年明けの1月22日としました。セミナーの周知は、両市町が森林所有者全戸に配布する制度説明の資料に、開催案内のチラシを同封することで行いました。

開催場所は、地域材活用の普及啓発の意味を込めて、全国木材利用優良施設コンクールで林野庁長官賞を受賞した、大槌町文化交流センターおしゃっらの多目的ホールとしました。

コロナ禍の最中での開催であるため、会場管理者の指示に従うとともに、椅子やテーブルの消毒、受付簿による参加者の管理、非接触式体温計の準備など、万全を尽くしました。

3 開催状況

次第は2部構成で、前半を「森林経営管理制

度～制度の仕組みと役割～」として振興局農林部から、後半を「釜石市・大槌町における森林経営管理制度の進め方」として釜石市・大槌町の担当者からそれぞれ説明を行いました。

前半の制度の仕組みと役割については、既存の森林経営計画制度と比較し、その成果を引き合いにしながら、できるだけ専門用語を避け、この制度に期待を持たせる内容としました。

後半の制度の進め方では、両市町の意向調査の全体計画と今年度の実施区域、区域ごとの具体的な意向調査の方法などを説明しました。



4 アンケート結果を受けて

金曜日午前中の開催でしたが、約40名の森林所有者の参加があり、事前受付から想定した人数を上回る結果となりました。

回収したアンケートからは、制度に期待する声がある一方で、意向調査が長期に渡ることへの懸念、制度の進捗状況・実績の公表を望む声や、説明会を継続して開催することを望む意見が複数認められました。

これら意見を踏まえ、今後も継続して制度の周知と推進に取り組んでいきたいと思えます。